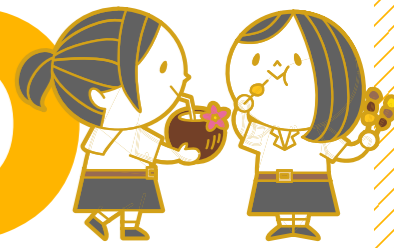


THAILAND



ラジャマンガラ工科大学・タンヤブリ校 RMUTT への留学

ワークショップを通して国際交流を実践。

本学とラジャマンガラ工科大学・タンヤブリ校 (RMUTT) での各大学で開催される学内各コンテスト上位入賞者であり、一定の成績をおさめた学生のみが参加できるワークショップ型の短期留学です。参加学生はタイと日本の双方を行き来することにより異国の文化を理解し、また共同制作というワークショップを通してかけがえのない国境を越えた友情を育むことができるプログラムです。プログラム中のコミュニケーションは英語で行われ、お互いの参加学生が英語の勉強を自然と学べるのも魅力のひとつです。

ほほえみの国タイで友情を育もう。

留学先のラジャマンガラ工科大学・タンヤブリ校 (RMUTT) から、バンコクまでは車で1時間程度で、現代的なビルが立ちならぶ中にも寺院や歴史的建造物があり非常に魅力的な街。また気候は温暖で、朗らかな人が多いタイで参加学生ものびのびと留学ができます。

開講学部: 経営情報学部 / 情報メディア学部 / 医療情報学部	種別: 選択	配当年次: 1・2・3・4年	単位数: 2単位
開催時期: 夏期集中 (8月中旬～9月中旬)	評価: ワークショップでの作品の評価と、レポート・プレゼンテーションの内容により評価する。(「国際コラボレーション」・2単位)		
留学先: ラジャマンガラ工科大学・タンヤブリ校 (RMUTT) / Rangsit-Nakhorn, Nayok Road, Klong 6, Thanyaburi, Pathum Thani 12110			
電話: 0-2549-3441	日程: 8月中旬～9月中旬の8日間 (予定)	申込期間: 各コンテストとも、5月上旬学内作品応募締切	
参加人数: WEB 8名、ショートフィルム 6名、コンピュタープログラミング 4名 (予定)	参加資格: 学内各コンテストで上位に入賞したもので、本学の在校生であり一定の学業成績をおさめたもの	参加費用: 約50,000円 (留学費用については、一部を北海道情報大学が補助)	

※別途食費、現地アクティビティ代、その他お小遣いが必要となります。※上記はあくまでも予定ですので、変更となる可能性があります。何卒ご了承ください。※上記はすべて平成27年度実績

2015年度 iWDC&iSFC Workshop I at RMUTT

10日(月)	移動日、オリエンテーション、基調講演(1)、歓迎会
11日(火)	表敬訪問、学内見学、講義(グループワークの方法)
12日(水)	バックグラウンド・作品紹介、グループ編成→作品制作方法討議
13日(木)	作品制作
14日(金)	バンコク東急百貨店・東社長懇談会、王宮見学
15日(土)	文化研修・作品制作の取材、ウィークエンドマーケット、バンコク市内見学
16日(日)	文化研修・作品制作の取材、アユタヤ見学、作品制作
17日(月)	作品制作・送別会
18日(火)	移動日

2015年度 iCPC Workshop I at RMUTT

10日(月)	移動日、オリエンテーション、基調講演(1)、歓迎会
11日(火)	表敬訪問、学内見学、講義(グループワークの方法)
12日(水)	バックグラウンド・作品紹介、グループ編成→プログラミング方法討議
13日(木)	プログラミング
14日(金)	企業研修、王宮見学
15日(土)	文化研修、ウィークエンドマーケット、バンコク市内見学
16日(日)	文化研修、アユタヤ見学、プログラミング
17日(月)	プログラミング、送別会
18日(火)	移動日

2015年度 iWDC&iSFC Workshop II at HIU

23日(日)	移動日、オリエンテーション、基調講演(2)、ショッピング、歓迎会
24日(月)	作品制作、開拓の村見学
25日(火)	北海道神宮見学、グループ単位で取材
26日(水)	芸術の森見学、グループ単位で取材、空手教室
27日(木)	作品制作、一般学生との交流会
28日(金)	作品制作
29日(土)	作品制作
30日(日)	作品制作、ワークショップの作品紹介練習
31日(月)	ワークショップの作品紹介練習、プレゼンテーション、成績会議、JASSOレポート、表彰式、送別会
9月1日(火)	移動日

2015年度 iCPC Workshop II at HIU

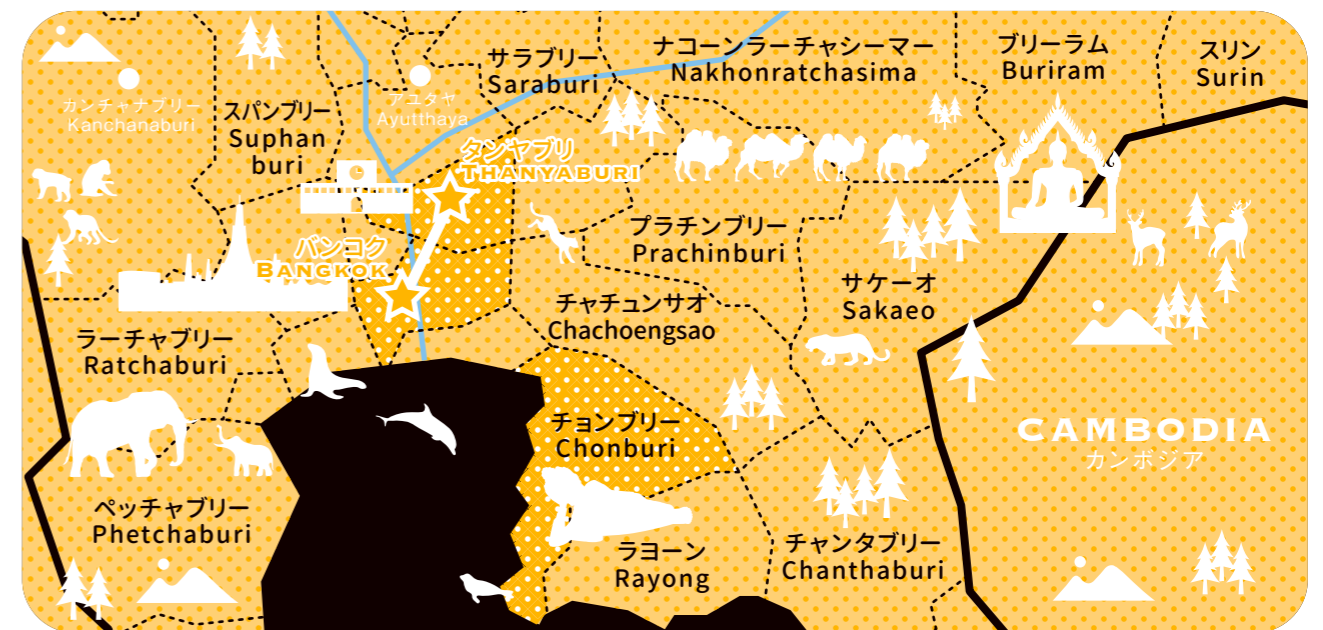
23日(日)	移動日、オリエンテーション、基調講演(2)、ショッピング、歓迎会
24日(月)	プログラミング、開拓の村見学
25日(火)	北海道神宮見学、グループ単位で取材
26日(水)	企業研修、札幌市内観光、空手教室
27日(木)	プログラミング、一般学生との交流会
28日(金)	プログラミング
29日(土)	プログラミング
30日(日)	作品制作、ワークショップの作品紹介練習
31日(月)	ワークショップの作品紹介練習、プレゼンテーション、成績会議、JASSOレポート、表彰式、送別会
9月1日(火)	移動日

国際コラボレーション&国際プログラミングコンテスト

2013年度から新しく単位化された科目です。タイ・ラジャマンガラ工科大学・タンヤブリ校 (RMUTT) とのワークショップを軸とした双方向留学をすることにより、単位取得を目指します。各ワークショップで、異文化交流、英語力の向上を目指し、学生同士の友情を深めます。

古今の歴史と文化が調和し、 仏教文化が息づく国。

東南アジアの中心に位置し、国土面積は約51万4,000平方キロメートル(日本の約1.4倍)。ミャンマー、ラオス、カンボジア、マレーシアと国境を接しています。人口は約6,800万人で、山岳部にはそれぞれの文化や言語をもった少数民族が暮らしています。また気候は熱帯性気候で、一番暑い4月の平均気温は35度、一番涼しい12月の平均気温は17度です。



バンコクってどんな街?

ほほえみの国といわれるタイ。バンコクはタイ経済の中心、東南アジア屈指の大都市で、都内にはタイ国際航空やバンコク銀行、シン・コーポレーション・グループなどの大企業の本社があります。サイアムスクエアは、若者たちのトレンド発信地として有名なショッピングエリア。巨大ショッピングビルだけでなく、おしゃれなカフェやオリジナルブランドを扱うショップが立ち並び楽しいエリアです。また、日本人に大人気のタイフードも大いに楽しめます。本場のタイ式マッサージを受けてみるのもいいでしょう。バンコクならではの魅力は、なんといっても荘厳な寺院や歴史的建造物などにあります。金色に輝く寺院や仏像の美しさは、一見の価値があります。

ラジャマンガラ工科大学・タンヤブリ校 (RMUTT) の特長

首都バンコクから約40kmの郊外にあるのがラジャマンガラ工科大学・タンヤブリ校 (RMUTT)。工学部、理工学部、演劇・音楽学部、経営学部、教育学部、教養学部など10学部を有し、学生数約2万人(大学院生を含む)、教職員数約800人という大きな大学です。広大なキャンパスには学生寮や学生食堂、サッカースタジアムといった厚生施設が充実し、所在県の名前の由来になっている蓮の美術館「ロータスマジューリアム」もあります。キャンパスの周辺は巨大な学生街で、夜もにぎやかな雰囲気にあふれています。ラジャマンガラ工科大学はタイ国内の各地に9つのキャンパスを持ち、タンヤブリ校はそのメインキャンパス。国際交流は非常に活発で、ヨーロッパとアジアを中心に世界中の大学・研究機関と交流協定を結んでいます。

RMUTT 担当者からの MESSAGE



各コンテストに参加した皆様おめでとうございます。コンテストは愉快で、楽しく笑い合いながら友情を育み、生涯忘れられることのできない大変貴重な経験となりました。RMUTTを代表して、私どもがHIUの美しいキャンパスを訪れた際の皆様のお心遣いに感謝の意を表したいと思います。2016年度の各コンテストも楽しみにしています。

Asst. Prof. Dr. Natha Kuptasthien
Assistant to the President and Industrial Engineering Department Head, Faculty of Engineering



私が各コンテストに5度参加させていただいた中で目の当たりにしたことは、この活動が学生や教授陣が知識を得ることはもとより、文化の差異を超えてお互いが学びあって良い関係を結ぶこと、そこから生まれる笑顔や親しみが、このプロジェクトを成功させる重要なポイントの一つだということです。

Dr. Uravis Tangkijiwat
Vice Dean, Student Development Faculty of Mass Communication Technology

何事にも恐れずチャレンジする姿勢が身につきました

共同開発でのコミュニケーション経験が財産に

成績基準に満たなかったため、当初は学内CPCへの参加を目的に制作に取り組みましたが、学内CPCで最優秀賞を頂き、国際コラボレーションに参加することになりました。RMUTTではネイティブ Androidアプリケーションの開発および多国籍による共同開発について学びました。最初は難しかった意思の疎通も時間が経つにつれできるようになりましたが、共同開発する中で、アプリケーションの細かな仕様を英語で伝えることは特に難しく苦労しました。ですが、それを乗り越えたことで、何事にも恐れずチャレンジ精神をもって物事に取り組み姿勢が身についたと感じています。

経営情報学部
システム情報学科 3年
工藤 剛さん



STUDENTS'



情報メディア学部
情報メディア学科 3年
半澤 浩平さん

困難を乗り越えたことで大きく成長できました

はじめは英語が1割も伝わらなかった

高校の頃から留学したいと思っていましたが、語学力に自信がなく大学3年生になって決心しました。はじめは自分の話す英語が1割も伝わらずにじけそうになりましたが、様々な方法を自分なりに考え試してみたことで、驚くほどの速さで英語が上達しました。タイの学生とともに映像制作をする中で制作方法などの様々な違いに気づき、この時得られた経験や感覚が帰国後も大きく役立っています。また、チームで限られた時間内に制作を成功させたことは大きな自信に繋がりました。困難もたくさんありましたが、楽しく充実した体験で、自分が成長したことを実感しています。

情報メディア学部
情報メディア学科 3年
福島 愛子さん



VOICE

英語も技術もスキルアップし自信につながりました

英語が完璧でなくても楽しい会話ができる

この留学制度を知ったきっかけは、クラス担任の先生が留学を担当していたこと、タイに留学をした友人がいたことからでした。最初は英語がなかなか通じず翻訳サイトを使っていたのですが、話していくうちに完璧な英語を話す必要はなく、単語をつけていだけでも伝わるのが分かり、楽しく会話ができるようになりました。映像制作では、タイの学生が私の知らないソフトを使っていて、今まで苦労していた作業が簡単に出来たので感動しました。今はそのソフトに興味を持って勉強しています。英語も技術もスキルアップでき、今の自信につながっています。

TEACHERS' MESSAGE

英語は伝わる。やらずに後悔しない、勇気ある選択を

留学して、自分なりの英語がこんなに伝わるという経験を味わってほしいです。タイの学生の英語力は情報大と同じぐらいのレベルです。そのことをお互いに気づけば、安心してすぐに仲良くなれることでしょうか。ワークショップのスケジュールはとてもハードですが、一生懸命頑張った達成感は、何よりも美味しい実となるはず。昔からの英語のことわざに「勇気を出してやっただ後悔する人は少ない。やらずに夢を手放して後悔する人は少ない。やらずに後悔するほうが、ずっとキツイ。」という言葉があります。ぜひ、参加してみてください。

経営情報学部 先端経営学科
講師 P. Joel RIAN



情報メディア学部 情報メディア学科
准教授 安田 光孝

世界を知るための第一歩を恐れずに踏み出そう

情報大学におけるタイ留学は、日本とタイの双方の大学でワークショップを開催するのが最大の特長です。お互いの大学を行き来することで、異文化を体験する側、体験してもらう側、その両方になるという貴重な経験ができます。日タイ混在のチームでのモノづくりに取り組むので、これからの世の中で必要になるグローバルなチームでのモノづくり体験ができます。得られるのは英語力だけでなく、チームワーク力や友人関係など、あらゆる面での成長があなたを待っています。一度しかない人生、世界を知るために、怖がらず一歩を踏み出してください。

真に心を通わせるコミュニケーション力を手に入れる

タイへの留学には明確な目標があり、タイの学生と共同で達成することが大きな特長です。とても大変ではありますが、やり遂げた充実感はとても大きなものになるでしょう。異なるバックグラウンドを持つ人と共同作業をするための心構えや、臆せず自分の考えを述べたり、先入観を捨てて相手の意見を聞く姿勢を学ぶことで、表面的でない真のコミュニケーション力が養われます。そのため、積極的に責任を持って行動できるようになったという声もよく聞きます。必ず自分が成長させることができるので、迷っていたら気軽に相談に来てください。

経営情報学部 システム情報学科
准教授 齋藤 健司

